

「松戸市 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた
大会成功とやさシティおもてなシティ推進のための基本方針(案)」
パブリックコメント(意見募集)手続きの実施結果を公表します

「松戸市 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた大会成功とやさシティおもてなシティ推進のための基本方針(案)」の作成にあたり、市民の皆様からご意見の募集をしたところ3名の方からご意見をいただきました。ご意見の提出ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見を整理し、市としての考え方をまとめましたのでお知らせいたします。

パブリックコメント手続き実施結果の概要

- 1 意見募集期間 平成 27 年 7 月 1 日(水)～平成 27 年 7 月 30 日(木)
- 2 意見提出者 3 名
- 3 意見総件数 16 件
- 4 意見取り下げ 0 件
- 5 回答数 16 件
- 6 意見内容および回答 下記のとおり

No.	項・項目	意見の趣旨	市の考え方	修正の有無
1	4 ページ 「4 つの重点 課題」	千葉の幕張で行うのであれば、なぜ松戸では競技は何も行えないのか？幕張より松戸のほうが東京に近く便利ではないだろうか？	<p>千葉・幕張で行われる競技につきましては、大会の当初計画では、東京・有明のビッグサイトを会場とする計画となっていました。しかしプレスセンター設置等に関連し、観客席が確保出来ないなどの事情で、国際オリンピック委員会より会場の見直しを求められ、幕張に変更となった経緯があります。このように大会会場は、競技環境が国際基準に適合すること以外に、大会運営上の様々な国際レベルの要素を、クリアすることが求められています。</p> <p>松戸市内で競技環境が整っていると考えられる施設は、松戸競輪場(周長 333m)がありますが、トラックレース国際基準に定められた競技場の周長は 250m であるため、大会競技会場としては使用できません。</p>	無

2	11 ページ 「取り組み課題」 ＜基本方針 1＞(1) 3)	他国の事前キャンプ地として東京に近い松戸は適当ではあるが、その関係者や市民などが会場に行くのは不便である。晴海や豊洲へのバスの路線や地下鉄半蔵門線の計画の再始動をさせて、会場まで乗り換えなし、や、スカイツリーまで1本、などとしないと他の東京近郊の都市が選ばれてしまうと思うし、市民も観戦に行くのが不便であると思う。距離は近いのに勿体ないので改善すべき。	＜基本方針 2＞(2) 4)に沿い、2020年東京大会までの5年間での実現可能性を念頭に置きながら、交通ネットワークの充実等に取り組んで参ります。 なお、地下鉄半蔵門線につきましては、平成12年に運輸政策審議会で松戸までの整備の位置づけがされましたが、東京メトロが副都心線整備以降、新線整備を行わなくなったため、事業主体や資金調達方法等の課題が解決されず事業化が困難な状況です。 また、競技選手や関係者は、通常専用バスでの移動が想定されますので、会場までの交通利便性は、高いと考えられます。	無
3	13 ページ 取り組み課題 ＜基本方針 2＞(1)	松戸の文化で外国人を呼ぶとあるが、現状では戸定邸ぐらいであり、わざわざ訪れたくはない。ヨーロッパでは日本のポップカルチャーが人気である上に21世紀の森がコスプレをする人に人気が出ているのでそこに力を注ぐべき。現状ではバスが数本しか出てないので、松戸や東京方面からのバス、もしくは鉄道の整備をすればいいと思う。また、周辺に土地も多いのでコンベンションセンターのようなものや練習場も検討できると思う。	＜基本方針 2＞(2)「松戸ブランド力の向上・国際化を進める」の各項目に沿い、ポップカルチャーイベント等の新しいブランドづくりを進め、徳川、戸定、コスプレ等の情報発信を進めていきます。また、バスや鉄道等も含めた交通ネットワークの充実や、スポーツ環境向上のための施設の整備・改修の検討も進めて参ります。	無
4	4 ページ 「4つの重点課題」	『本市にとって成功とは・・・』の文中に『2020年までに開催される各種競技大会においても実践・・・』とあるが、1)何を実践するのかが不明確。1から4の重点課題と明示すべき2)2と4は、2020年以降も実践すべき課題だと考える。「2020年以降も」を文言追加すべき	本市にとっての(2020年東京大会の)成功は何か、を示しておりますので、その成功のための取り組みを、「2020年までに開催される各種競技大会においても実践」し、成功体験を蓄積する重要性を示しています。	無

5	4 ページ	「外国チームの事前キャンプ誘致」が松戸市に対してどのようなレガシー(遺産)を残すか明示されていない。本当に遺産ができるなら、それを明示すべし。	事前キャンプについては、国際交流と本市の国際化、スポーツ文化の向上等、多くの効果が期待されますので、事前キャンプが確定する段階において、基本方針に沿い今後策定する、推進行動計画等で明示してまいります。	無
6	5 ページ 「4 つの重点課題」3	大会ボランティアの育成は、会場がある東京都、および千葉県開催分の千葉県と千葉市が主体であろう。松戸市が支援といっても、直接的事業にはならないのではないか。(前記自治体が松戸市に具体的事業の協力を要請するとは思えない) むしろ、観光客など来松者に対するボランティアの育成を重点化すべし。	ボランティアの受入れ等に関する大会組織委員会の正式な方針が示されておきませんが、大会成功を願う市民の皆さんの意欲に対し、それを支援する取組みを進めていきたいと考えています。もちろん松戸にお越しになる皆さんに対するボランティア育成は、重要であると考えております。	無
7	6 ページ 「4 つの重点課題」4	文化プログラムの開催には、「投資対効果を十分考慮した上で実施する」の文言追加をすべき	行政による取組みは、投資対効果を考慮することは必要ですが、文化プログラムは、行政のみでなく、芸術家、文化団体、NPO、企業、住民等、民間の幅広い主体による取組みが期待されるため、一律の方針はなじまないと思われまます。	無
8	7 ページ 「基本方針」2	日本全体や千葉県の経済波及効果を述べても意味はない。松戸市の経済波及効果を明示すべき。それにより、市税への波及効果がわかり、事業支出の枠も見えてくる。投資対効果を重視する姿勢を宣言すべき。	今後の2020年東京大会に向けた事業を進めるに当たり、重要な視点であると考えております。	無
9	8 ページ 「基本方針」3	ここでいう「グローバル人材」の定義がどのようなものかはわからないが、文部科学省の定義と同じとすれば、オリンピック・パラリンピック教育が「グローバル人材の育成」にどう結びつくかが不明瞭。この仮説に従えば、先の東京オリンピックでグローバル人材が多数輩出されたはずだが、そ	2020年東京大会に向け、幅広い分野で国際化の動きが進みます。グローバル人材の育成は、固有の概念にとらわれず、これからの新しい動きを純粋に受け止め、世界に関心を持ち、国際交流を通じ、異文化を尊重し、国際的視野を持ち、経済だけでなく、文化や芸術、教育など幅広く国際社会で活躍	無

		の兆候は見られなかった。グローバル人材は経済面からの要請である。「グローバル人材の育成」が目的なら他に有効手段があるはず。	できる人材を輩出するため、重要であると考えています。	
10	11 ページ 「取り組み課題」	どうも、基本方針案は、松戸市単独色が強い感がある。隣市の柏市など東葛地区で協働して、観光客や海外選手への同一歩調による対応を考えてもよいのではないか。海外の人には、松戸と柏を区別する必然性はない。	基本方針は、松戸市がこれからの取り組みを進める姿勢を示したものです。今後は必要に応じ、千葉県や近隣市、大会開催都市である東京都等との連携を図って参りたいと考えています。	無
11	14 ページ 「取り組み課題」 ＜基本方針 2＞(2)8)	大会開催と公共設備の整備・改修との関係が意味不明。一過性のもののための投資は不要である。社会インフラを整備した前回の東京オリンピックの時代より社会環境は大きく変化したことを認識すべし。	2020 年東京大会開催に向け、様々な分野の方から、期待や関心が寄せられています。この項目は、松戸市の公共施設の老朽化による施設改修等の時期が重なる事も考慮し、民間団体や個人の大会に向けた思いに支えられた施設整備等の可能性追求を示すものです。	無
12	15 ページ 「取り組み課題」 ＜基本方針 2＞(2)9)	松戸駅周辺まちづくり基本構想が 2020 年に向けてどのように貢献するか全く不明確である。そもそも、成案化すら時期的に怪しい上、仮にできたとしても計画案はあくまで計画であって、具体的には、何もオリンピックには寄与しないし、オリンピックが同まちづくり計画に寄与しないのではないか。	松戸駅周辺まちづくり基本構想は、松戸駅周辺の新たな街の魅力を創生するまちづくりの指針を示し、事業を進めていくものであり、＜基本方針 2＞松戸の地域創生とブランド力の向上を進めるためにも、重要な取り組みであると考えています。	無
13	16 ページ 「取り組み課題」 ＜基本方針 4＞(1)2)	競技者や旅行者の受け入れなど一過性のもののために、公共施設の再編整備を進めることには反対である。公共施設の再編整備は松戸市民のために、恒久性のあるものでなければならない。	公共施設の再編整備は、一過性のもののために行うものではなく、老朽化対策や耐震化、バリアフリー化など、2020 年以降も市民のためになるものとして取り組んでいます。競技者や旅行者の受入れ等は、公共施設再編整備と連動し、その範囲内で取り組むものです。	無

14	18 ページ 「取り組み 課題」 ＜基本方針 5＞1)	有識者による推進会議を組織化するなら、市内大学にこだわらず、真の有識者を幅広く求めることを要望します。	今後の取組みは、幅広い分野の見識が必要となるため、課題に対応した専門的知見を取入れられる様、努めてまいります。	無
15	17 ページ 「取り組み 課題」 ＜基本方針 4＞(1)4)5)	4)の後半部(文化財説明板以降)の国際表示と5)との違いが不明確である。4)の後半部は5)に入れるべき。	4) は、各種情報提供に当たっての国際表示について、5) は、施設案内表示が施設ごとで異なる現状を改善（規格統一）し国際表示すること、を示しています。	無
16	13 ページ 「取り組み 課題」 ＜基本方針 2＞(1)5)	オリンピック期間中には、当然に、ついでに東京ディズニーリゾートを往訪する外国人観光客が多くいると考えます。また、外国人観光客は羽田空港・成田空港からのアクセスの良く、都内からも近い、宿泊所を探すと思われます。松戸市にあてはめると、松戸市は、東京ディズニーリゾートからも比較的近い距離にあるといえ、かつ羽田空港・成田空港からのアクセスの良い「東松戸駅」があります。この財産を活かす方法を検討するべきだと思います。駅前に東横インや APA などのホテルを誘致することや、東松戸駅前自体の活性化も重要になると考えられます。	ご指摘の通り、本市が持つ可能性を活かす方策について、検討する必要があると考えております。	無